

# 局の動き

## 農林 水産部

伊平屋村における「海の学校」の  
取組が農林水産大臣賞を受賞



平成13年度農林水産祭むらづくり部門表彰事業において、伊平屋村における「海の学校」の取組が農林水産大臣賞を受賞し、さる11月27日に沖縄総合事務局局長室において、その伝達式が行われました。

伝達式には、東京のライフスタイル研究所スタジオ29の今井代表（海の学校校長）、西銘伊平屋村漁協組合長（同副校長）、西銘伊平屋村長等が出席し、総合事務局の東次長から西銘組合長へ賞状が手渡されました。

伊平屋村漁協は、ブルーリゾムズの一環として「海の学校」を平成7年に創設し、体験漁業・マリンレジャー等の受入れを主体的に行い、1次産業である漁業に、2次、3次産業の要素を加えることによって「漁業の複合化」を推進しています。

このような取組により、漁業経営の安定化、雇用の拡大、多様な人材の活用・育成等が図られ、島全体の歴史・文化を取り込んだツーリズムが村の活性化に大きく貢献していることから、このような成果が認められ今回の受賞に至りました。

沖縄総合事務局農林水産部ホームページにおける  
「うちなー農林水産物」の掲載について

沖縄総合事務局農林水産部ホームページ（<http://ogb.go.jp/nousui/>）に、沖縄県の農林水産物に対する正しい情報を消費者にわかりやすく紹介した「うちなー農林水産物」を掲載致しましたのでお知らせします。



## 財務部

違法たばこ自販機撤去活動が、沖縄県少年  
育成ネットワークより表彰される

さる11月30日に行われた沖縄県少年育成ネットワーク定例会において、理財課が同ネットワーク会長である沖縄県警察本部長より表彰を受けました。

同ネットワークは、少年非行防止活動を推進することを目的に、県警察本部が中心となって平成12年11月に設立されたもので、県内86の団体が加盟し、それぞれの立場から積極的な活動を展開しています。

理財課では、たばこ小売許可等の事務の一環として、未成年者喫煙禁止法及びたばこ事業法の遵守の立場から、ここ数年無許可たばこ販売業者への指導を強化しており、平成12年度には、関係機関と連携しながら、1,417台の違法たばこ自販機に対して撤去命令を行いました。今回の表彰は、これらの活動が「少年を取り巻く環境浄化を強力に推進して少年の非行防止に寄与した」と認められたものです。

理財課では、今後とも、たばこ自販機の適正設置指導を継続し、未成年者喫煙の防止を推進していくこととしています。



## 総務部

南西諸島方面海域洋上慰霊  
を実施



南西諸島方面海域洋上慰霊が平成13年11月29日（木）30日（金）の両日、沖縄 鹿児島間で行われました。

太平洋戦争において米国潜水艦等の攻撃などで撃沈された沖縄関係の戦時遭難船舶の犠牲者を慰霊するために実施される洋上慰霊は、これまで2回実施したところですが、今回、過去の洋上慰霊で十分に参加の得られなかった嘉義丸、湖南丸、台中丸、宮古丸、開城丸等の戦時遭難船舶の遺族を中心として実施されました。

洋上慰霊には県内外から遺族や関係者約400人が参加し、29日午前10時に那覇新港を出航しました。午後4時から開催された合同追悼式では、厚生労働大臣（代読）の式辞、黙とう、沖縄及び北方対策担当大臣（代読）の追悼の辞に続き参列者による船上からの生花等の洋上投下が執り行われました。その後、各船舶の沈没地点付近で個別の洋上慰霊が執り行われ、海底に眠る多くの犠牲者のめい福を祈りました。

# 局の動き

## 開発 建設部

「那覇港沈埋トンネル第1号函据付完了式」を開催

今般、那覇ふ頭港口部に建設中の沈埋トンネルの第1号函が据え付けられ、去る12月4日、現地(三重域側立坑内)において来賓、地元関係者及び工事関係者を招き「据付完了式」を開催しました。

那覇港は、那覇・泊・新港・浦添の4ふ頭から成り各ふ頭を一体として機能させるため、臨港道路の整備が計画されました。

那覇港沈埋トンネルは、慢性的な交通渋滞の解消を図るため、沖縄西海岸道路も兼ねて計画された県内初の海底トンネルです。

平成8年に立坑基礎工事に着手しトンチ浚渫工事、第1号沈埋函据え付けに至ったところです。

今後は、県民の皆様のご期待に応え、一日も早くこのトンネルを完成させて、21世紀の港湾にふさわしいポートフリーウェイを実現すべく、事業の推進を図っているところです。



## 開発 建設部

「沖縄の道路(みち)」写真コンテスト表彰式



「沖縄の道路」写真コンテストは、道路の果たすいろいろな役割を県民の方々に理解して頂き、併せて道路愛護思想の普及を図るため、沖縄総合事務局開発建設部主催のもと平成4年度に1回目のコンテストが行われ、今回で第10回目を迎えました。

応募者も第1回目には30名で74作品でしたが、回を重ねる毎に増え、今回は134名による278作品の応募がありました。

去る10月30日に沖縄県写真協会顧問、外7名の審査員による審査会が行われ、厳選な審査の結果、最優秀・優秀作品を含む入賞作品22点を選出し、その中から道路カレンダーの各月を飾る12作品を選考しました。

11月22日にかりゆしアーバンリゾート那覇において当局霜上次長はじめ多数の出席者の下、表彰式が執り行われ、霜上次長より入賞者に表彰状及び記念品が授与され、入賞作品について沖縄県写真協会の津野顧問より講評が行われました。

また、表彰式終了後、12月10日から12月14日に県庁1階で入賞作品を掲示しました。

## 経済 産業部

ガス保安功労者沖縄総合事務局長表彰式の開催

去る11月13日に、平成13年度ガス保安功労者沖縄総合事務局長表彰式を執り行いました。この表彰は、保安意識の高揚を図り、もってガス保安の確保をより一層推進することを目的としているもので、昭和54年から実施されております。

表彰は、日頃から保安管理体制が十分に確立され、長期にわたり事故が発生していない事業所及び保安に関し特に功労があった個人を対象として行っております。

今年度は、個人の永年勤続者の部門で渡慶次憲明琉球ガス㈱代表取締役社長と池宮城房夫宜野湾ガス㈱代表取締役社長が受賞しました。

両氏とも長年にわたるガス事故の防止に努めてきた実績や社内における保安教育の実施等、保安に関する功績が認められたものとなっています。また、簡易ガス協会沖縄支部における保安活動を通して広く県内におけるガス事故の防止に努めてきたことも評価されております。

